

番組審議会議事録(平成24年2月14日開催)

1. 開催年月日

平成24年2月14日 午後7時～

2. 開催場所

(株)登米コミュニティエフエム 会議室

3. 委員の出席

委員総数 8名

出席委員数 5名

出席委員の氏名 塚本壽、堀田菜菜江、佐藤寛一、奥山浄啓、加藤和子

欠席委員の氏名 須齋香織、永浦貞志、嶋村幸二、

放送事業者側出席者名 斉藤恵一、佐藤万里子

4. 議題

(1) 以下の内容に関する審議

- ・ 平成24年度事業計画について説明

5. 議事の概要

(1) 平成24年度事業計画について斉藤局長より説明した。内容は以下の通り。

① 南三陸災害エフエムと登米災害エフエムの運営について

南三陸町より「南三陸災害エフエム」の運営を2012年4月1日付けで業務委託され、現在5人を南三陸災害エフエムの担当として臨時に雇用し運営しております。

登米市内に建設された仮設住宅へのラジオの配布と受信環境の改善にも取り組んでまいりました。配布したラジオの購入資金には、佐沼ロータリークラブ様や佐沼ライオンズクラブ様をはじめ、個人・団体等の方々からの支援もいただきました。

登米災害エフエムとして昨年度より引き続き、出力100Wでの放送を実施しております。この災害エフエムは、登米市は2013年3月まで、南三陸町は同年5月までの免許です。期間が終了すれば、南三陸町は閉局の意向、登米市はコミュニティエフエム

として出力は従来の 20Wに戻ります。

② 登米市における中継所等整備について

登米市は東日本大震災時の経験を踏まえ、コミュニティエフエムを防災無線の補完と位置付けて、コミュニティエフエム用の中継所を設置し登米市全域を放送エリアとすることを検討しています。弊社による電波調査は終了し、報告書を提出する段階です。その間、登米市役所担当課とも幾度となく協議を重ねてきました。

よって、今期はこの中継所設置を最重要事業と位置付け、事業展開してまいる所存であります。

6. 審議内容

(1) に関して

出席各委員了承。

7. 審議機関の答申又は改善意見に対してとった措置及びその年月日

社内会議にて報告(平成24年2月15日)

8. 審議機関の答申又は意見の概要を公表した場合におけるその公表の内容、方法及び年月日

ホーム・ページにて意見の公開(平成24年2月下旬)